

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	演劇	種目	ミュージカル
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	かぶしきがいしやおーるすたつ				
	制作団体名	株式会社オールスタッフ				
	代表者職・氏名	代表取締役 中嶋友紀子		団体ウェブサイトURL		
				https://www.allstaff.co.jp/		
	制作団体所在地	〒 111-0051	最寄駅(バス停)	蔵前		
		東京都台東区蔵前2-4-5 K-FRONTビル8F				
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/>	※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
	ふりがな	みゅーじかるかんぱにーいつふおーりーす				
	公演団体名	ミュージカルカンパニー イツツフォーリーズ				
	代表者職・氏名	代表取締役 中嶋友紀子		団体ウェブサイトURL		
				https://www.allstaff.co.jp/		
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)			
		同上				
	制作団体 設立年月	1962年 5月				
	制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等		
		相談役:土屋由美 代表取締役:中嶋友紀子 取締役:吉田健二,中島康江		制作部:松本峻汰・鎌田奈々美・田中みゆき 経理:秦明子・平澤真帆 演技部:劇団員 約50名 文芸部:3名		
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	鎌田奈々美		
	経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	土屋由美		
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号		
		kamata@allstaff.co.jp		0358231056		

	<p>制作団体沿革・主な受賞歴</p> <p>株式会社オールスタッフは、1962年に作曲家・いづみたくがいづみミュージックオフィスとして設立。1975年には歌手を養成するためイズミ・ミュージックアカデミーを設立。1977年に、その卒業生たちが中心となり、ミュージカル劇団フォーリーズ(現イッツフォーリーズ)を旗揚。主なミュージカル作品に「死神」「洪水の前」「おれたちは天使じゃない」「歌麿」など。</p> <p>いづみたく没後も、その遺志を継ぎ、幅広い年齢層に向けてのオリジナルミュージカルを全国で公演。主なミュージカル作品に「ルドルフとイッパイアッテナ」「青空の休暇」「小さい“つ”が消えた日」「グゲゲの鬼太郎」「秋に咲く桜のような」「遠ざかるネバーランド」「じいじのふしぎなレストラン」「YOSHIKO～悔いなき命を～」「てだのふあ」「ナミヤ雑貨店の奇蹟」「獅子吼」「魍魎の匣」「ピエタ」「聲の形」「鉄鼠の檻」ほか。</p> <p>主な受賞歴に、1982年《芸術祭賞》「洪水の前」大衆芸能部門優秀賞、1985年《文化庁芸術祭賞》「歌麿」演劇部門／芸術祭賞、紀伊國屋演劇賞「洪水の前」、「歌麿」など。</p>
制作団体の実績	<p>学校等における公演実績</p> <ol style="list-style-type: none"> ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」 府中市教育委員会、新宿区教育委員会、調布市教育委員会、他の小学校芸術鑑賞教室 ファンタジーミュージカル「霧のむこうのふしぎな町」 東海村教育委員会、増穂町教育委員会、文京区教育委員会、日立市教育委員会 新潟市中学校国語研究会 ほかの小・中学校芸術鑑賞教室 ミュージカル「おれたちは天使じゃない」 山形・長野・浜松・北九州 ほか高等学校合同芸術鑑賞行事 桐蔭学園など近郊の高校鑑賞 音楽劇「ねこはしる」 金沢市小学校演劇鑑賞教室、増穂町教育委員会、文京区教育委員会 ミュージカル「ファーブル昆虫記」 金沢市小学校演劇鑑賞教室、袖ヶ浦市教育委員会、ほかの小学校芸術鑑賞教室 文化庁本物の舞台芸術体験事業・(子どものための優れた・文化芸術による子供の育成事業・文化芸術による子供育成総合事業・文化芸術による子供育成推進事業・舞台芸術等総合支援事業) H20年度ミュージカル「ファーブル昆虫記」、H21年度ミュージカル「野菊の墓」 H22・23年度ファンタジーミュージカル「霧のむこうのふしぎな町」 H25・26・27年度 ミュージカル「ファーブル昆虫記～ムシたちの四季～」 H28・29・30年度 ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」 R1・2・3・4年度 ミュージカル「小さい“つ”が消えた日」 R5・6年度 ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」 R7年度 ミュージカル「バウムクーヘンとヒロシマ」
特別支援学校等における公演実績	<p>上記参照。</p> <p>生徒が出来る事、望んでいる事に合わせ、身体の動きを調整し、表現することを楽しめるようにつとめる。音楽は、子どもたちの感性を豊かにするものであると私共は考え、子どもたちが音楽を楽しみ、自ら表現したいと思うように指導し、導く。(特別支援学校に関しては事前の打ち合わせが特に重要だと考えるため、子どもたちの情報や、授業の現状を共有できるよう、学校とコミュニケーションを綿密に取る予定。)</p> <p>生徒の観劇の機会を丁寧に創っていきたいと考えている。</p>

参考資料	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	有				
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	https://youtu.be/xYzq1cXSjeg				
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center;">ID:</td> <td style="width: 50px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:						
PW:						

別添

なし

【公演団体名 ミュージカルカンパニー イツツフォーリーズ】

本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○	
		小学生(高学年)	○	中学生	○	
	企画名	ミュージカル「バウムクーヘンとヒロシマ」				
	企画のねらい	本作は、バウムクーヘンが大好きな小学生6年生の男の子が、日本のバウムクーヘン発祥の地が広島県の似島である事を知り、そのルーツを辿りながら戦争の惨さ、平和の大切さを実感していくお話です。 テーマは繋ぐ・継ぐ・気づく。時代、国を越えた平和への思いを未来へ繋ぐこの作品で、観た人それぞれが登場人物の人生を通して平和について考え、平和への想いを次の世代へ繋いで欲しいという想いを込めて作りました。 同年代の主人公を自分と重ねることで、子どもたちに颶太と同じ目線で学びと希望を感じてもらえることを願っています。				
	演目概要・演目選択理由	第68回産経児童出版文化賞産経新聞社賞を受賞した、著:巣山ひろみ、絵:銀杏早苗による同名の児童書をミュージカル化。日本で初めてバウムクーヘンを焼いたのは、捕虜として日本に連れてこられたカール・ユーハイム。販売された場所は、のちに原爆ドームとよばれるようになる建物だった、という実話をもとに、カールが捕虜として収容されていた広島県の似島を少年・颶太が訪れたことから、平和の大切さを学ぶ物語です。 現代を生きる子どもたちが、日本で戦争があったことを知り、学ぶことは大切なことだと考えています。ミュージカルにすることで音楽やダンスを楽しみつつ、主人公が戦争について学んでいく姿を通して平和について考える本作を、多くの子どもたちに見ていただきたいこの作品を選択しました。				
	児童・生徒の参加または体験の形態	開演約10分後、ミュージカルナンバー「♪バウムクーヘングレートジャーニー」で、100年間でバウムクーヘンに出会った人々として登場し、ダンスで参加します。(参加児童数 14人まで) 開演約45分後、ミュージカルナンバー「♪私のいちばんやりたいこと」で、ドイツ人捕虜としてカールを励ますシーンに登場し、ダンスと芝居で参加します。(参加児童数 16人まで) いずれも参加場面以外は客席で鑑賞し、参加場面になったら客席から舞台上へ上がります。 開演約1時間25分後、カーテンコールにて、参加した生徒全員で観劇した仲間に感謝の気持ちを込めて客席から、テーマ曲「♪へいわのうた」を出演者と共に歌います。				
	児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人數目安	30~50人	
				鑑賞人數目安	約500人まで	
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	原作=巣山ひろみ(ぐもん出版刊) 脚本・作詞=大西弘記(TOKYOハンバーグ) 演出=磯村 純(青年座) 音楽=田中和音 美術=根来美咲(青年座) 振付=明羽美姫(イツツフォーリーズ) 衣裳=富永美夏 歌唱指導=佳田亜樹 照明=鷺崎淳一郎(有限会社ライティングユニオン) 音響=返町吉保(株式会社キャンピット) 舞台監督=赤坂有紀子(予定)				
		公演時間	95	分		
	出演者	颶太役=森山真衣(予定) カール・ユーハイム役=半澤昇(予定) エリーゼ・颶太の母・優斗のひい婆さん役=大川永(予定) オートマー役=森隆二(予定) ウォルシュケ役=堀内俊哉(予定) プレヒト役=和田裕太(予定) 重松文子(フミさん)役=鈴木彩子(予定) 絵真理(えまり)役=刀根友香(予定) 優斗(ゆうと)=田中桃羽(予定) 美晴(みはる)役=成観礼(予定) 灯央(てお)役=鳴梓紗(予定) 颶太のおじいさん・クスノキ爺さん役=石鍋多加史(予定) 計12名				
	演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	脚本・作詞=大西弘記 社会問題を取り扱いながらも、一筋の涙が零れるかどうかといった”心の栄養”をモットーにした、強い普遍性と現代のリアルとのバランスを保つ丁寧な劇作・演出スタイルで、舞台と客席を繋ぐ。青少年向けの作品を多く手掛け、定評がある。 演出=磯村純 桐朋学園短期大学専攻科演劇専攻修了後、1996年に劇団青年座入団。書き下ろし作品の演出に、時代の先端を行く劇作家の作品を多く演出。また、青年座の代表作である「ブンナよ、木からおりてこい」の五代目演出家として演出を担当。 音楽=田中和音 大阪芸術大学にて前田憲男氏に師事。ピアニストとして参加したバンドが横浜ジャズプロムナードにおいてグランプリを受賞。作編曲家としてはビッグバンド編成の編曲を数多く手がけるほか、管楽器愛好家に人気の「めちゃモテ・シリーズ」や合唱譜を中心にお手本多数。				
	本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人 数含む	出演者:	12 名	運搬	積載量: 4 t	
		スタッフ:	11 名		車 長: 9 m	
		合 計:	23 名		台 数: 2 台	

本公演会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間		時間程度		
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去			
	7:45	8:00～14:00	14:00～15:35	0分	15:40～17:30			
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
本公演実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月	7月	8月	9月				
	0日	0日	0日	3日				
	10月	11月	12月	1月				
	21日	19日	14日	0日				
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計	#VALUE!			
本公演・ワークショップの内容	(図1)舞台の設置イメージ。体育館の床面に設置します。							
								
	(図2)ミュージカル「baumkuchenとヒロシマ」舞台写真							
								
※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡								
著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当あり	該当コンテンツ名	原作使用権			
	該当事項がある場合	権利者名	くもん出版	許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 ミュージカルカンパニー イツツフォーリーズ】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	<p>子どもたちが講師とともに一緒に遊びながら、自分の好きなジャンルで表現することにより、自分では気づかずいた特技が見えたり、新しい自分を発見することが、一番の目的です。</p> <p>講師は子どもたちとのコミュニケーションや、子どもたち同士のコミュニケーションを図りながら、子どもたちが表現をしやすい環境を作っています。</p> <p>本公演では児童が舞台に出演することがマストですので、本番の場面を想起させ、そこに自分たちが出演者となることを意識できるよう導きます。参加者一人一人が舞台に必要な登場人物として、それぞれのオリジナルシーンを創り上げ、作品のテーマについて考えることを目指しています。</p> <p>そして舞台セット、照明、音響の中でプロのミュージカル俳優と一緒に出演し共に作品を作り上げる体験によって、自分らしさを見つけること、舞台上での自分達の表現が、他の生徒に感動を伝えることができるということを実感してもらえるよう取り組みます。</p>		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	30人～50人
	ワークショップ実施形態及び内容	<p>講師は5名、途中休憩含み100分(2時限 プラス休憩時間)を1日で行います。</p> <p>各参加場面、性別、学年は問いません。(推奨は小学校4年生～)</p> <p>基本は遊びから入り、遊びの中でミュージカルに必要な歌・ダンス・芝居全てに挑戦し、自分の特性を伸ばしながら、楽しんで取り組めることを第一の目標とします。</p> <p>①プレイ1. ミュージカルについて解説 講師による5分程度のミュージカルパフォーマンスを行い、これを観た上でミュージカルに必要な要素とは何か、生徒に質問しつつ説明します。</p> <p>②プレイ2. コミュニケーションゲーム(シアターゲーム) 全員で身体と頭を動かし、アイコンタクトや、言葉のキャッチボール、即興ジェスチャーゲームなどを行なながら、一体感と仲間意識を高めます。</p> <p>③プレイ3. ダンス 体を動かすゲームをしながら、ダンスのステップに繋げます。ダンスのスキルは問いません。</p> <p>④プレイ4. 歌のもつ意味を考える。 テーマソング「へいわのうた」の歌詞の意味を考えながらみんなで歌います。</p> <p>⑤プレイ5. ステージング 前半Aチーム(14名まで)、後半Bチーム(16名まで)の2チームに分かれて、 ダンスの練習をするだけでなく、生徒たちの世界観を大切にし、意見を出し合って、一つの場面を作り出していく面白さを体験してもらいます。 合計30人を超える場合はCチームをつくり、カーテンコールの手話振付を練習し歌います。</p> <p>⑥リハーサル 本番に見立て、エリアを区切って場当たりや実際の音楽に合わせて入退場含めた練習を行います。</p> <p>上記内容をスムーズに進めるため、また参加の生徒の意欲を高めるために、ワークショップ前に振付動画を送ります。動画を見て、どんな場面に出るのか、どんな音楽なのかを事前に見ていただくことで、不安の解消や期待を高めることにつながり、当日の進行がより円滑になります。</p>		
	その他ワークショップに関する特記事項等	<p>基本的には本番出演する生徒のみで行います。</p> <p>上限 A14人、B16人 合計30人、人数次第でCチーム20～30人になります。</p> <p>50人を上限としますが、こちらの数は舞台上に上がる人数になりますので、1クラス、学年の人数の都合でこの人数内では難しいという場合は、客席から歌の参加など、別の形を相談させてください。</p> <p>また、ワークショップとは別に、本番当日にも約1時間、参加の生徒たちと参加場面の最終リハーサルを行います。本番の舞台セット、照明、音響の中で、普段とは違う環境で安全に、楽しく本番に臨めるようにしていきます。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 ミュージカルカンパニー イツツフォーリーズ】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。 <ul style="list-style-type: none"> ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。 ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。 ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。 上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。 任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。 詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。 なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。				
	(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。			
	会場の設置階の制限	2F以上応相談	主幹引き込み電源容量		220 A以上
	舞台設置面積	間口	18 m	奥行	10 m
		高さ	8 m		
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	不可
	搬入間口の広さ	幅	1.8 m	高さ	1.8 m
	遮光の要否	7割程度必要	緞帳の要否		あれば使用する可能性がある
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定		条件なし
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		要
会場条件	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		20 m以内
	搬入車両の種類	中型トラック	台数	2 台	
	搬入車両の大きさ	車幅	2.5 m	車長	9 m
	備考	上記基本条件を満たさない場合でも、前日仕込みや、お手伝い又は追加人員により対応可能な場合があります。			

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

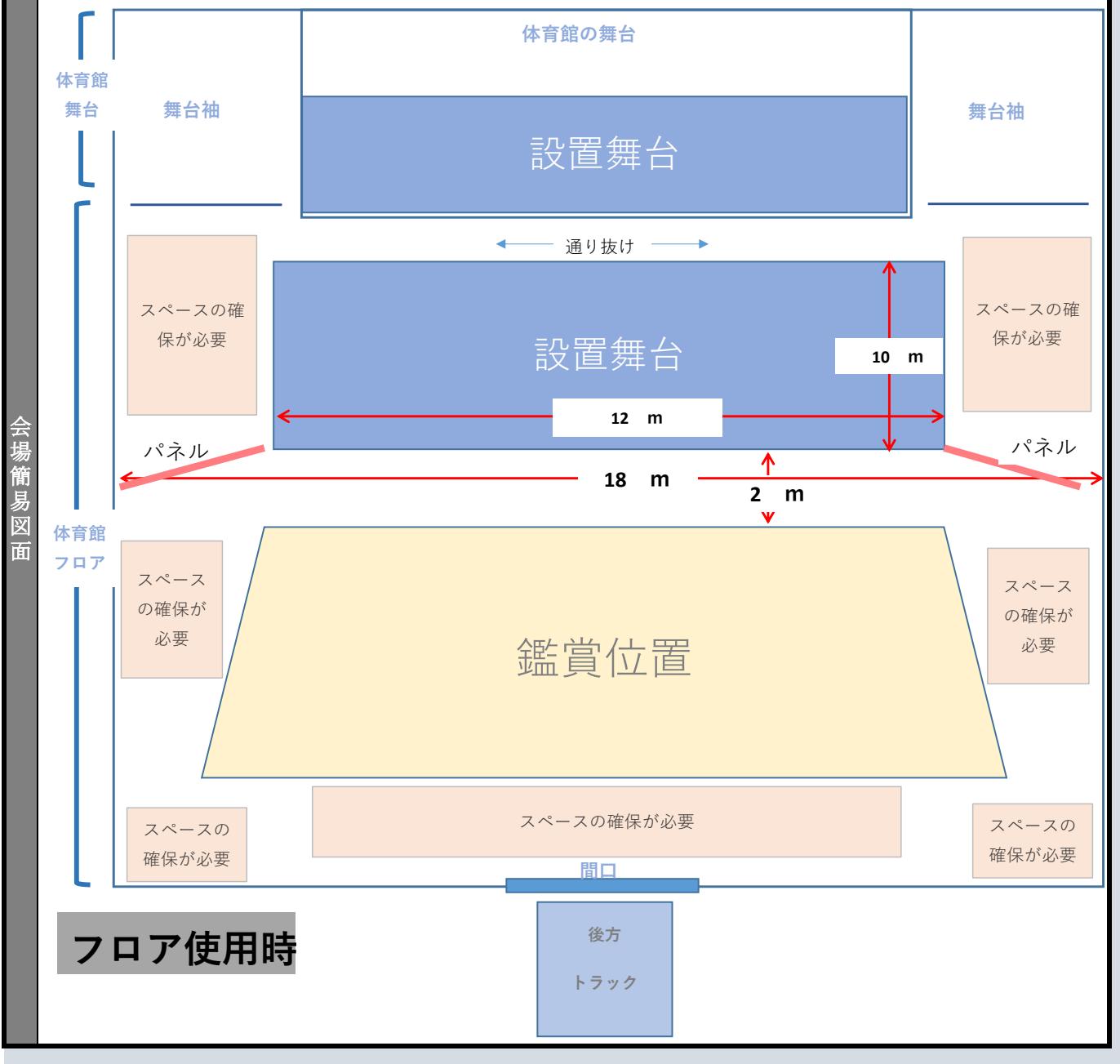
学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
	会場図面の提出要否	要
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	

	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。							
なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。									
※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。									
時間外対応	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考				
	ワークショップ 共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	30分程度	ワークショップ時間外 (休み時間やHRなどを想定)	歌の練習	楽譜と音源をお送りします。給食時間などに聞いて覚えていただき、本番が近くなったら全体で一度練習してみてください。				
	ワークショップ 共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	40分程度	ワークショップ時間外において各自(休み時間・自宅での個人練習などを想定)	ダンスの練習	音源と動画を送しますので、共有して個々で見られるようにしてください。				
	本公演 共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	60分程度	開演の約2時間前～1時間前 (多少の調整は可能)	共演部分のリハーサル、舞台の説明やスタッフ紹介	安全面から共演する全児童の参加が必須となります。				
	本公演								

	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
個別確認事項		
	1	バスケットゴールの設置状況。アップ希望ですが、出来ない場合、位置を正確に教えて下さい。
	2	14時開演が難しい場合、終了時間の希望と、朝は何時から体育館での準備が可能かを教えてください。
	3	

(任意) 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名 ミュージカルカンパニー イツツフォーリーズ】

【本事業を通じて実現したいこと】

近年スマートフォン、ゲーム機器の普及やコロナ禍を経て、人間関係が希薄になりつつあることは社会的な課題で、演劇にはコミュニケーション能力向上のための力が存在すると考えております。本事業の事前ワークショップや学校での鑑賞も同様の力があり、子どもたちの心を豊かにすることはこれまで学校の先生や子どもたちのアンケートからも実感しています。現在私たちの劇団では、幅広い世代、地域を対象に、年間100ステージ以上のミュージカルの上演、130日を超えるワークショップ等の表現活動と、そのための勉強会を行っております。この実績とノウハウを活かして、ワークショップでコミュニケーション能力の向上、自己発見に繋げ、そして優れたミュージカル作品を数多くの学校へ届け、演劇鑑賞行事の必要性と舞台芸術の素晴らしさ、更に次世代に繋がる文化の担い手や、文化芸術に興味を持つ人材を育てて行きたいと思います。

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

担当する先生との連絡を大事にしており、できるだけ電話で話すことで不明な点が残らないようにして、連絡の段階から信頼関係の構築に努めます。また、ワークショップで使用する音源や譜面、振付動画などを事前に共有することで、ワークショップ前に作品への期待を高め、本番に向けて生徒が練習しやすい環境を作ります。そして、動画に映る講師が実際にワークショップを行うことで、事前に講師に対する親近感を持つていただき、当日のコミュニケーションをより円滑なものにしていきます。生徒だけでなく事業に取り組む先生方の、ひいては学校全体の鑑賞事業を行うモチベーションを上げていきたいと思います。生徒参加者に対しては名簿や名札で、出来る限り名前と顔を一致させるように努め、事前ワークショップと本番での、貴重な出会いを特別なものにできるようにいたします。

本事業への応募理由等

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

公演独自の確認書、資料を送付し、その資料も毎年見直し、よりわかりやすく、誤解のない表現になるようにしています。ワークショップの日程調整や概要説明に加え、より詳しいワークショップ内容や作品概要、生徒の取り組み方などを丁寧に説明したいと思います。伝達間違いや勘違いを防ぐためにメールも送った上で、電話で確認を行うことで、できる限り先生が疑問点や相談事項を話しやすい環境を作るよう努めています。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

生徒一人ずつと向き合い、理解することを大事にしています。参加場面の中に、各学校が自分たちで考えて作るシーンがあり、講師と一緒に相談して考えて作ることで、主体的に参加しやすくなるよう促します。また、ワークショップの資料として映像で記録を残していただき、本番までの間に練習用として使用できるようにします。ダンスに苦手意識がある生徒もいるため、振付を忘れた時はどうするかなど、踊れなくても楽しめるアドバイスをしながら、楽しい思い出にできるよう留意します。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

ワークショップで、短いパフォーマンスを交えてミュージカルとはどのようなものか、作品についての解説をし、物語やミュージカル自体への関心を高めるようにしています。本公演では、この作品は小学6年生という、生徒と同年代の主人公が、バウムクーヘンと似島の繋がりを知り、平和について考える姿を通して、観ている子どもたちも平和の大切さについてそれぞれが考え、知ろうとするきっかけになるように導きます。